



きのP通信

発行：2026年8月 第11号



HPに掲載中

3年目のきのこプロジェクト

皆さまの温かいお力添えに支えられ、地域づくりの共創として取り組んできた「きのこプロジェクト」も、ついに3年目に突入しました。ダムのことや新得町の美味しい特産品を、これまで以上にたくさんの方に知ってもらおうきっかけになれたなら嬉しいです！

「極めて希少な地域資源」と考えています

ここ十勝管内には、「15」ものダムが所在していることを、皆さまご存じでしょうか。そのうちの「5つ」のダムを有する新得町で、私達、ダム管理者やダム事業者の強みである「インフラ」と、新得町の強みである「そばや原木しいたけといった地域産業」を融合させ、住民の方達が日常的にダムに親しんでいただけるような取組へ・・・。

「水源地域の価値と特産品全体を多面的に活かす取組」へ・・・

今年度は、これまでの原木しいたけ栽培から一歩進めて、ダムのまわりの魅力や特産品をいろんな角度から楽しめるように！そして、その楽しさが十勝エリア全体に広がっていくように、大きな志を胸に（……といっても気負わず、一歩一歩マイペースに……）、メンバーみんなで力を合わせて取り組んでいきます。

◆ 構成員 ◆

新得町
十勝総合振興局 帯広建設管理部
北海道電力株式会社 新得水力センター
電源開発株式会社東日本支店 上士幌電力所
北海道開発局 帯広開発建設部

十勝ダム



帯広開建

佐幌ダム



帯広建管

富村ダム



北電（株）

岩松ダム



北電（株）

屈足ダム



電源開発（株）

「ほだ木」への菌うち作業を行いました

「きのP通信」の発行がないため、「ほだ木」とともにトンネル内に潜伏（?!）していたと思われていたでしょうか。いえいえ、今年度も「きのこプロジェクト」は活動しています。現在は、9月に開催される「しんとく新そばまつり」への出展に向け「ダムを活用した原木しいたけの栽培」にみんなで取り組んでいます。

5月11日及び13日の青空のもと、観光農園「拓鉄キノコタン（新得町）」のご協力をいただき、原木しいたけを「ほだ木」で育てるための作業（菌うち作業）を経験しました。



真剣に汗をかきました

観光農園「拓鉄キノコタン」の木下さんや進藤さんからは、原木しいたけ栽培の工程をひとつひとつ丁寧に教えていただきました。菌打ちや仮伏せ、本伏せ…自然の中での作業は想像以上にハードで、美味しいしいたけが育つまでには、本当にたくさんの手間と愛情が詰まっているんだと実感しました。



ご指導ありがとうございました



日々、パワフルに栽培に励むお2人には、作業後の質問タイムまで丁寧にそしてユーモアたっぷりに対応いただき、とても学びの多い時間となりました。お忙しい中、快くご対応いただいた観光農園「拓鉄キノコタン」の皆さま、本当にありがとうございました。

今後、様々なことに取り組みます

直近のビッグイベント「しんとく新そばまつり」に向けて、新得町と開建で、新たな挑戦がスタートします！原木しいたけの発生を促すため、ダムの恵みをほだ木に吸収させる秘策（?!）を試みます（この試みについては、とびっきりのネーミングも付けています！）。また、そばまつりへの出展以外にも、構成員それぞれの強みを活かした新たな取組を検討していきますのでご期待ください。

編集後記

春の異動により、一部新たなメンバーが加わりました。今年度も知恵を絞り、少しでも「地域の力」となれるよう一歩ずつ頑張ります。

（担当：K）

